

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的審議事項

・板倉区の未来を拓く観光について（公開）

○その他

・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について（公開）

3 開催日時

令和5年5月18日（木）午後6時00分から午後6時53分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

2 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、
植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、
吉田重夫、長藤豊
- ・ 事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、小林次長、内藤次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長、高橋建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任、福井地域おこし協力隊（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

- ・ 会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を小林委員に依頼。

4 自主的審議 板倉区の未来を拓く観光について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1に基づき説明

【平井会長】

事務局から説明があったが、本日は福井協力隊に出席していただき、現在取り組んでいることや、来年度取り組みたいことを発表していただき、地域協議会として何ができるのか話し合いたいと思う。

【福井協力隊】

- ・参考資料に基づき説明

【平井会長】

今ほど福井さんから発表いただいた。ヒルクライムレースを行うことで地域が一体となっておもてなしをしたり、光ヶ原高原をはじめとして板倉区をPRしたいということである。ヒルクライムレースについては、今までも地域振興部会で意見が出たり、全体会でも意見が出ていたので、地域協議会の意見と通じるところがある。皆さんから何か質問や意見があれば挙手をお願いする。

【田中委員】

福井さんの方から非常にいい提案をいただいたし、今年の報告もいただいて、頑張っている成果が出ているということで我々としてもうれしく思う。特にヒルクライムレースについては、産業建設部会でも意見が出ていたので全体会で報告させてもらったが、実現に至るとは考えていなかった。こういう提案をいただいたので、ぜひ我々も協力しながら成功に向けていけたらと思う。途中の休憩が何箇所か必要だと思うし、光ヶ原高原での振る舞いもあると思う。芝桜まつりの時も毎年恒例の板倉名物のうど汁をふるまっていたが、やはり板倉地域の中ではう

ど汁というのが一つの特産品というか名産品になっているので、例えばこのヒルクライムレースのゴールや中間点でそういうものの振る舞いができたらいい。竹の子は保存しておくのに瓶詰にするが、うどは塩漬けしか仕方ないかなと思うのだが、そういうこの地域ならでは、例えば2種類の汁を作って振る舞うとか、米も有名なのでおにぎりを1個10円とかただ同然で振る舞って引き付ける魅力にするとか、やり方はいろいろあると思うので、福井さんと我々地域協議会ができることを意見交換しながら盛り上げていければなと思う。私は大賛成だし、頑張ってもらいたい。

【植木委員】

いろいろなところの取組が独り歩きしているような板倉だったが、総合的にしてくださる方がいて今後が楽しみである。一つ例を取ると、私は芝桜まつりのとき、やすらぎ荘に行きたかったが、友人に電話したら駐車場が満車で来たら大変だと言われた。できれば板倉区のバスを使ってピストンなり、どこからか花見みたいな感じに無料でも100円でもいいが、そのようなことをしてもらえるとありがたい。それと私は営業職であるが、営業職は次回アポを必ず取る。お客様と必ずアポを取らないと、次の展開にいかない。そうなる、せっかく1万人もいらっしやっただから、100円の無料券でも簡単なものを皆さんに、もしくは子どもさんに配布する。子どもは絶対に大人を連れてくるので、そういった形で次回のことも考えてほしい。せっかくのイベントなので、実施すればいいではなく、次を盛り上げるためのイベントというように考えてほしい。いろいろな協力をするのでぜひ頑張ってもらいたい。

【池田委員】

以前にも、年に春夏秋冬と4つの柱でイベントを作るようにと聞いた話をしたが、結局芝桜が終わってしまうと夏、秋があまり魅力的なイベントがない。冬は寺野遊雪まつりがあるので、あとは夏と秋を何かひまわりでもいいし秋の桜のようなもので、4つの柱を作ってイベントをやってもらいたい。イベントを企画する方は大変だと思うが。それと自転車は私も年に1、2回光ヶ原の方に家から近いので行っているが、ぜひやってもらいたい。タイムレースの部門とタイムレースではない部門もやってもらいたい。

【小林委員】

福井さんの説明を聞いて大変力強く思ったし、地域活性化に向けて大変努力されていることが分かった。ヒルクライムレースもそうだが、一番の課題はやはりスタッフであり、安全第一に目的を達成することであると思う。地域協議会も先ほど話があったように今までの経緯からするとバックアップ体制が取れるのではないかと思うので、まずは組織としてスタッフをどのように集めていくかということについて、行政と地域協議会と協力しながら進めていきたいと思う。我々が今まで取り組んできた板倉区の未来を切り拓く観光についての中にもあるが、地域活性化の方向性、福井さんが今やってこられたことについても、ベースは合致するのでこれからもどんどんアイデアを出していただいて発信してもらえればと思う。

【長藤委員】

私はヒルクライムレースに特化したことについて話をしたい。私も過去に参加したことがあるので、どこに何が必要かある程度承知しているつもりである。今年度から試走をやるのはいい。私は佐渡金山ヒルクライムレースと今回考えているヒルクライムレースの規模がどうかと試算したことがあり、板倉区総合事務所から旧高原センターまでだと距離はこちらの方が短い、旧グリーンパル光原荘まで行くとすると佐渡金山を越える。平均斜度はこちらの方がやや緩やかであり、標高差も上まで行けば佐渡を越える。この規模からすると、全国発信するとおそらく3桁の応募が来ると思う。それがレースの時だけでなく、事前の試走にも相当数が来ると思う。一般的な自転車という話もあったが、エキスパートクラスと一般クラスに分けてやれば、競技性のものもできるし非常に大きなかたちになっていく可能性も秘めていると思う。できれば私は、これを板倉区だけでなく上越市全体のイベントとして、なおかつ100kmマラソンが1年おきなので、その間の年度に光ヶ原高原ヒルクライムを計画するかたちをとると、毎年こういうスポーツイベントとしての来客も見込めると思うので、非常に効果が出るのではないかと思う。

【手塚委員】

福井さんは寺野の芝桜まつりの方で先頭になって、5月6日は寺野地区の春祭

りであったが地区の皆さんを引っ張っていくようなかたちでリーダーシップを取ってくださり、皆さんから大勢来ていただいた。地区の皆さんも本当に感謝しているし、これからもお願いしたいと思っている。先ほど遊雪まつりの話が出たが、一昨年30回を迎えたわけだが、前から30回で一区切りで少し一息つこうということで、正直なところは1年だけでなくもう少し休もうと思っていたが、皆さんの方でできればやってほしいという意見もあった。休む期間は1年だけにして来年の2月に今までの規模のイベントはできるかどうか分からないが、また冬のイベントということで地元の方で企画してやっていきたいと思っている。福井さんの方からもいろいろと協力いただきたい。それと先ほどから話があるが、1年を通して何かのかたちになる柱になる事業があった方がいいと思うのでまたこれは皆さんといろいろ検討しながらいい方向にもっていければいいと思っている。

【平井会長】

他にないか。

(質問、意見なし)

では、新たにヒルクライムレースをやりたいということだが、実際にやるとしたら、地域の各種団体、たとえば沿線の町内会など各団体が連携して取り組まないといけないので、オール板倉で取り組んでいったらどうかと思う。それには地域独自の予算を活用することがよいと思うので、提案に向けた検討を行っていきたいと思うが、地域協議会全体で取り組むのは動きづらいと思う。そこで、少人数の検討会を立ち上げたいと思う。会長、副会長のほか、3部会の座長に入ってもらって、総合事務所と一緒に検討するのがよいと思う。これについて、意見のある方は挙手をお願いする。

(質問、意見なし)

では各部会長から一言お願いする。まずは地域振興部会長の発言を求める。

【長藤委員】

先ほど話をしたとおり、積極的に取り組みたいと思うので、今の計画でお願いしたい。

【田中委員】

意見で言わせてもらったとおり反対はない。今年の試走は地域独自予算は間に合わないと思うが、来年に向けての動きの中ではそういった動きをしていって、板倉なり上越を含めた中での恰好はいいことだと思う。やはり実績を作らないと地域独自予算の提案は難しいと思うので、今年の実績について、早急に今言われたメンバーでいいので会議を開いて成功に向けて動けばいいと思う。

【小林委員】

私も大賛成であるが、企画から運営体制をどのように構築するかが一番の課題だと思うので、その辺は十分理解をしてバックアップしていきたいと思うし、参画をしていきたいと思う。

【平井会長】

では、検討会を立ち上げることとし、必要に応じて部会を開き検討していきたいと思う。まずは、一度検討会を開き今後の動きについて確認検討したいと思うので、事務局の方で会議の設定をお願いする。

この件については終了する。

次に5その他に移る。事務局から何かあるか

【内藤次長】

前回の協議会の中で質問いただいた件で、スクールバスの児童の降ろし忘れへの対応はどうなっているのかということで、ハード面の対応について質問があった。上越市では国の方針に基づき市全体のスクールバスに安全装置を設置している。本日板倉区のスクールバス2台に安全装置が設置されたところである。保育園の園バスについてはすでに設置してある。その装置の仕組みだが、バスが運行し終わって、戻ってきてエンジンを切ったときに「車内を確認してください」というアナウンスが流れる。そして車内のブザーが鳴る。そのブザーを止めるためには、運転手が一番後ろまで子どもがいないかを確認しながら歩いていき、一番後ろにあるブザーを止めるボタンを押すというものである。機械をつける以前も運転手は子どもが残されていないか、疲れて帰りは寝てしまう子どももいるということもあり、必ず確認はしていた。機械も設置したので安全対策を取っているということで報告させていただく。

【小林委員】

前回質問させていただいたが、対応していただきありがたい。安全第一に定期的に再発防止対策というか、そういった対策について学校、保育園、委託会社含めて再発防止対策についての確認をお願いしたい。

【小池地域振興班長】

- ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について、資料を元に説明

【平井会長】

質問、意見のある方の挙手を求める。

(質問、意見なし)

それでは期限までに調査票の提出をお願いします。他に事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

6月12日の4区合同研修会について、案内を先日郵送させていただいた。研修会及び情報交換会の出欠について事務局まで報告をお願いします。当日の役割だが、準備は事務局で行うが、開会の挨拶、および事例発表については平井会長に、司会進行は古川副会長にお願いしたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。また、研修の案内には現地集合で帰りは希望者があれば総合事務所まで職員の運転で対応ということにしていたが、その後、会長、副会長とも協議した結果、他の区に配車予定のバスを、板倉区総合事務所に寄ってもらって乗車させてもらったかどうかという話になった。バスがはっきり決定していないが、バスが決定次第、再度ご案内させていただく。

地域独自の予算について、新しいパンフレットが地域政策課からきた。これらのパンフレットを使い、6地区の連絡協議会との意見交換の場で地域独自の予算について理解していただければと思う。活用していきたい。

【平井会長】

- ・次回の地域協議会の日程について確認。

他に何かあるか。

【池田委員】

筒方地区のふきんとまつりが6月4日にある。皆さんぜひ参加してもらいたい。

【平井会長】

他に何かあるか。

(特になし)

その他については以上とする。

【古川副会長】

・挨拶

【内藤次長】

以上で、第2回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 8 - 2 1 4 1 (内線 1 2 3)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

1 0 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。